

施設は  
無くなって  
しまうの？

## 未来の米沢を考えよう みんなの「公共施設」 シンポジウム

学校、コミセン、運動場、公園…  
これからの公共施設のあり方は、市民の皆さん一人一人が考えていかなければなりません。このシンポジウムでは、本市の公共施設の現状と課題、全国の取組事例などについて分かりやすく説明します。一緒に「未来の米沢」を考えていきましょう。

- 日時／7月5日(水) 18時45分～
- 会場／伝国の杜 大会議室
- 講師／中神邦彰氏 ■入場料／無料
- ※要申込み。申込用紙は総合政策課や総合案内で入手できるほか、市ホームページからダウンロードできます。
- 定員／100人※定員に達し次第締切

### 中神 邦彰 氏

[Profile] 公認会計士・税理士、一般社団法人地方公会計研究センター理事・専門委員。豊田市をはじめ数多くの自治体の資産評価などを経験し、習志野市では財務状況の市民説明会も担っている。セミナー活動にも精力的で、青森から沖縄まで全国で行っている。



※資産老朽化比率：保有する資産が、どの程度耐用年数を経過しているかを示す指標  
※建物系施設：公共施設のうち、ハコモノと呼ばれる施設（学校、コミセン、市庁舎など）

どうする？  
どうなる？

## もっと教えて！米沢の公共施設のはなし



### 今以上に維持管理費用の節約なんてできるの？

省電力・省エネルギーを導入して負担額を抑制する方法を検討するほか、施設利用による受益と利用者負担の関係を見直し、公平性を確保します。



### コミセンは地区の中心だし、災害時の避難所にもなっているけど、統合するの？

コミュニティセンターは、地区ごとの配置を基本とします。



### 小中学校は、どうするつもりなの？

将来の児童・生徒数の推移を踏まえた学校規模の適正化を推進します。



### 建物の更新や廃止は、どうやって決めるの？

施設の老朽化やニーズを踏まえ、市民の皆さんとも十分に情報共有を図り、方針を決定していきます。再編などを進める場合は、皆さんに現状を理解していただきながら事業を推進します。

現存する建物を全て更新していった場合、※建物系施設で年平均33・6億円が必要になり（企業会計を除く）、税等負担額（補助金等を除いて市が払わなければならない額）は、年24・2億円となります。現在は年10億円の投資しか見込めないため、持続可能な行政経営を推進するためには40年間で延床面積を現在の40%まで圧縮しなければなりません。

そこで、「公共施設等総合管理計

## 目標は20年間で延床面積を20%削減すること

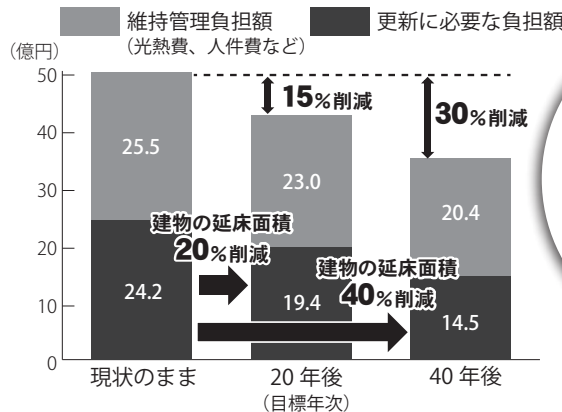
市内に141の公共施設がある米沢市。その延床面積は367,008㎡、※資産老朽化比率は55%に上ります。人口減少や少子高齢化が大きな課題となっている今、本市では、公共施設全体の方向性を定める「公共施設等総合管理計画」を策定しました。

画」では、今後20年間で延床面積の20%削減を目標とし、施設更新及び維持管理に要する税等負担額の15%削減を目指します。

## 目標を達成するために どんなことをするの？

次の3つの目標と実施方針をたてました。

- ① 保有総量の適正化
  - ② 維持管理・運営効率の向上
  - ③ 安心・安全の確保
- △実施方針（抜粋）▽
- ・施設機能の集約化や複合化、統合
  - ・維持管理費用の節減、施設収入の増
  - ・予防保全による施設の長寿命化



この図は、更新に必要な負担額と維持管理負担額を表しているよ。延床面積が削減されることで、将来の費用負担を大きく減らすことができるね。

